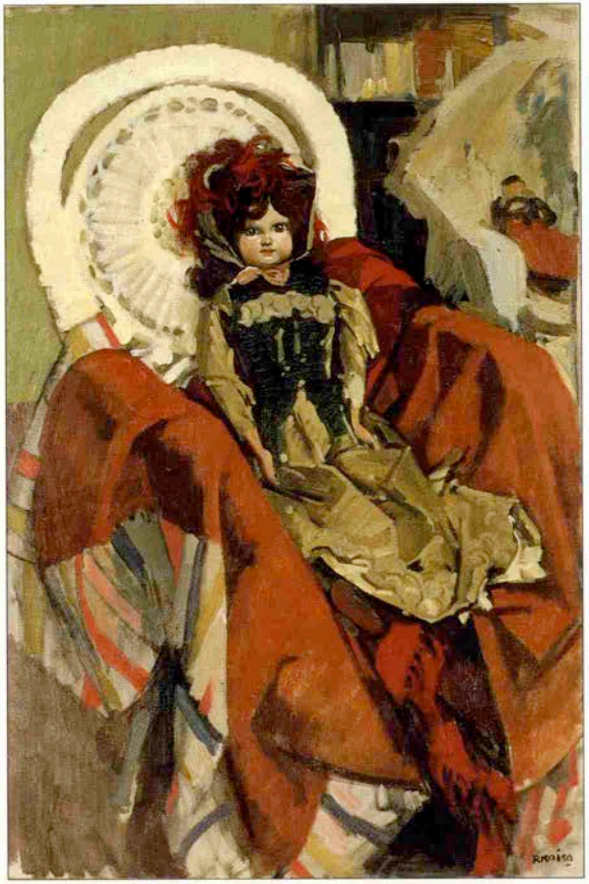
# THE KOBECCO

MARCH No. 335

1989 3 月刊 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
1989年3月1日印刷 通巻335号 1989年3月1日発行
毎月1回1日発行



JOYFUL ELEGANCE

## エスプリの開花
## ——美しきデュレ、デビュー。

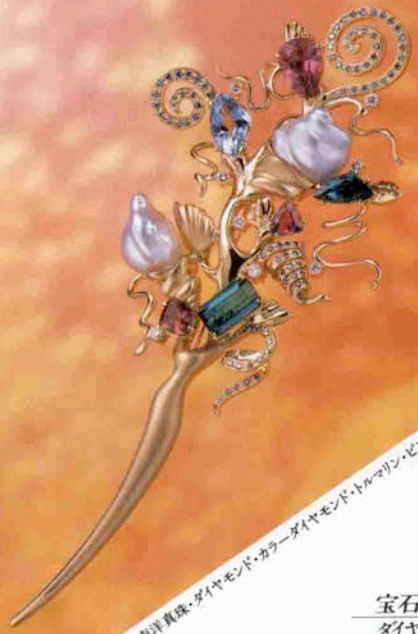
麗しの季節のファンファーレは、
おしゃれ女神のおめざめから……。
春のトップを切って、
おなじみのデュレが、神戸エルベ店に続き、
大阪ミナミ・虹の街店、ナビオ阪急店に登場。
よりあでやかに、女らしさが息づく予感……。

BENIYA
KOBE OSAKA TOKYO

| | | | |
|---|---|---|---|
| 神戸● | 本店 | 三宮センター街 | Tel.078(332)2135－6 |
| | エルベ店 | センタープラザ1F | Tel.078(332)2829 |
| | ウィング店 | 三宮センター街 | Tel.078(332)0780・0788 |
| | シャコック店 | 三宮本通り | Tel.078(332)4858 |
| | さんちか店 | さんちかローザアベニュー | Tel.078(321)2678 |
| | イヴサンローラン店 | そごう神戸店本館3F | Tel.078(261)2922 |
| 大阪● | 三番街店 | 阪急三番街 | Tel.06(374)0137 |
| | ナビオ店 | NAVIO阪急3F | Tel.06(316)1303－4 |
| | ミナミ店 | 虹の街 | Tel.06(213)6128 |
| | 近鉄店 | 上本町近鉄百貨店3F | Tel.06(773)1117 |
| 東京● | 銀座店 | ニューメルサ1F | Tel.03(574)8012 |
| | 銀座エルベ店 | 銀座メルサ1F | Tel.03(564)5625 |
| | 自由ヶ丘店 | ニューメルサ自由ヶ丘 | Tel.03(724)8888 |
| | 日比谷店 | 日比谷シャンテ | Tel.03(501)1871 |

# わたしは、デモーニッシュな女。

女性が魔性をひそませているように、
宝石も宿し持っているのではないかしら。
引きずり込んでしまう魔力。
このブローチをしばらく見つめていると、心が燃え上がってくる。
さあ、胸につけて口紅を引いて、男たちの瞳を独り占め。



●ブローチ/南洋真珠・ダイヤモンド・カラーダイヤモンド・トルマリン・ピンクトルマリン・アクアマリン・K18/デザイン 内海和子

宝石たちの新世界。
ダイヤモンドも田崎真珠

田崎真珠

濱崎加代子

# ISMを着る

'80大阪音楽大学音楽学部専攻科修了。第11回、13回関西日伊コンコルソ入選。数多くのオペラやコンサートなどに出演するかたわら、演出や企画も手がけるなど幅広く活躍している。関西二期会会員。オペラグループ「ALA DI KOBE」代表。'89.4/1親和女子大学記念講堂にて「コーラスとオペラを楽しむつどい」予定。

**KITANO-ISM-KAN**

ism PRESENTATION

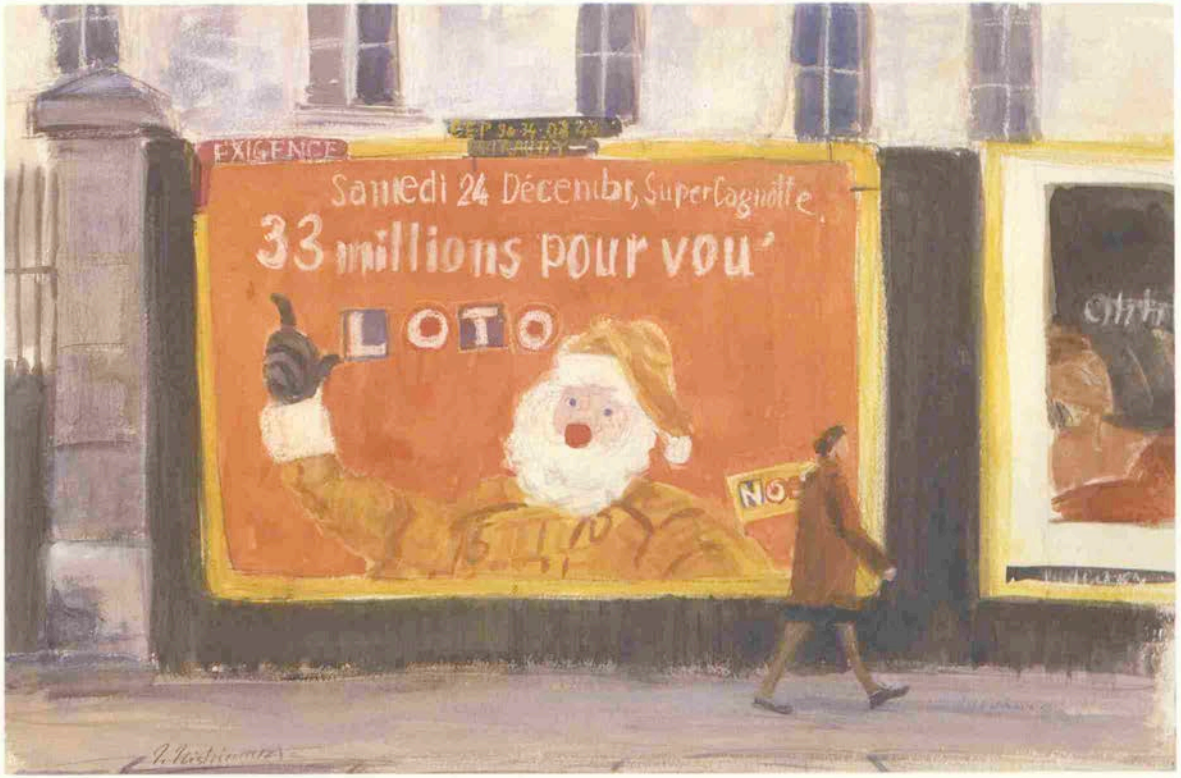
〒650 神戸市中央区山本通2-66
TEL (078) 222-2818

株式会社イズム
神戸市中央区布引町1－1－10
☎(078)222－3641

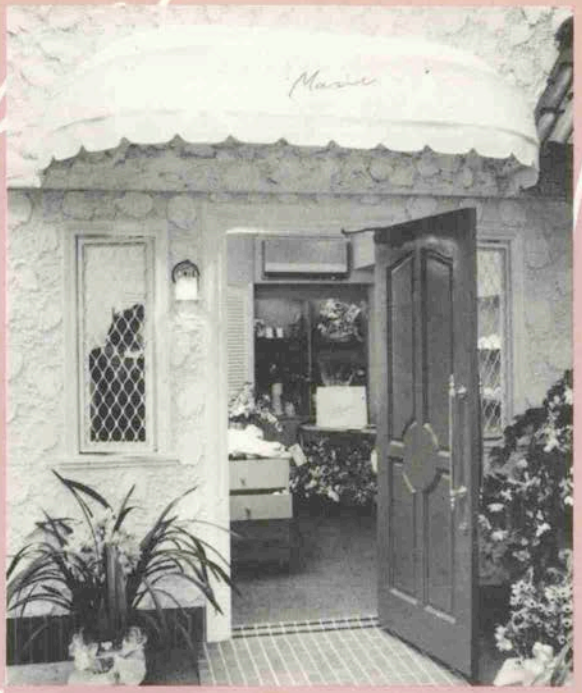

イストコレクション／ブラウス¥19,000
スカート¥21,000
撮影協力／ギャラリー「White House」

※イズムのブラウスを抽選で3名様にプレゼントいたします。葉書に住所・氏名・年齢・職業を記名の上、神戸っ子「イズム」係。'89年3月25日まで

Second Cover　●ヨーロッパの街角から(15)




宝くじの広告(1988年)　絵/西村 功




# とってもお洒落な
# 春一番

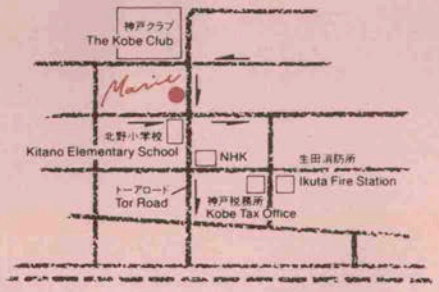
夢をいっぱいつめこんで

トア・ロードにランジェリー

ショップ〝MARIE〟がオープン

〝MARIE〟であなたの憧れを手に

入れて下さい。




Marie

神戸市中央区山本通り3丁目7-25 メゾントーア 7-25, 3-chome Yamamoto-dori, Chuo-ku, Kobe 650, Japan ☎(078) 261-1197

# kansin street gallery 〈2〉

## 麻生豊久〈墨象作家〉

アソウ　トヨヒサ・1945年生まれ。青年期に前衛、或は墨象と呼ばれる書の世界に接し、その自由な表現手法に感銘を受けた。「伝統的な形式は形式として大切にしながら、その形式を乗り越えてもっと現代的なものをよりストレートに表現できる作品を創ってゆきたい」と抱負を語る。

※作品展示：3月1日～31日

●関西信用金庫が"かんしん"として新しく生まれ変わりました。新しい"かんしん"は、共感・対話・信頼という3つの企業理念を支えとして、地域文化の育成にも力を尽くしていきたいと考えています。

この企画は、神戸で活躍する才能豊かな新鋭アーティストを本誌上、そして当庫新本店ビル1階に完成した"かんしんストリートギャラリー"にて紹介してゆくものです。

90×90

生田新道に面したストリートギャラリー

kansin

関西信用金庫
神戸市中央区下山手通2丁目12-3 〒650
PHONE (078) 332-5151㈹ Fax (078) 333-9874

Tajima
宝飾店 タジマ
元町2丁目　TEL 331—5761代表

第18回・ブルーメール賞 文学部門

# その思いを主人公に託す——森 榮枝

〈作家〉カメラ・池田年夫

神戸市灘区赤坂通、閑静な住宅街の一画に森さんの住居がある。窓際の、明るく光が射し込む部屋に専用の机がしつらえてあった。窓の外には沈丁花が香り、南天が枝いっぱいに赤い実をつけている。

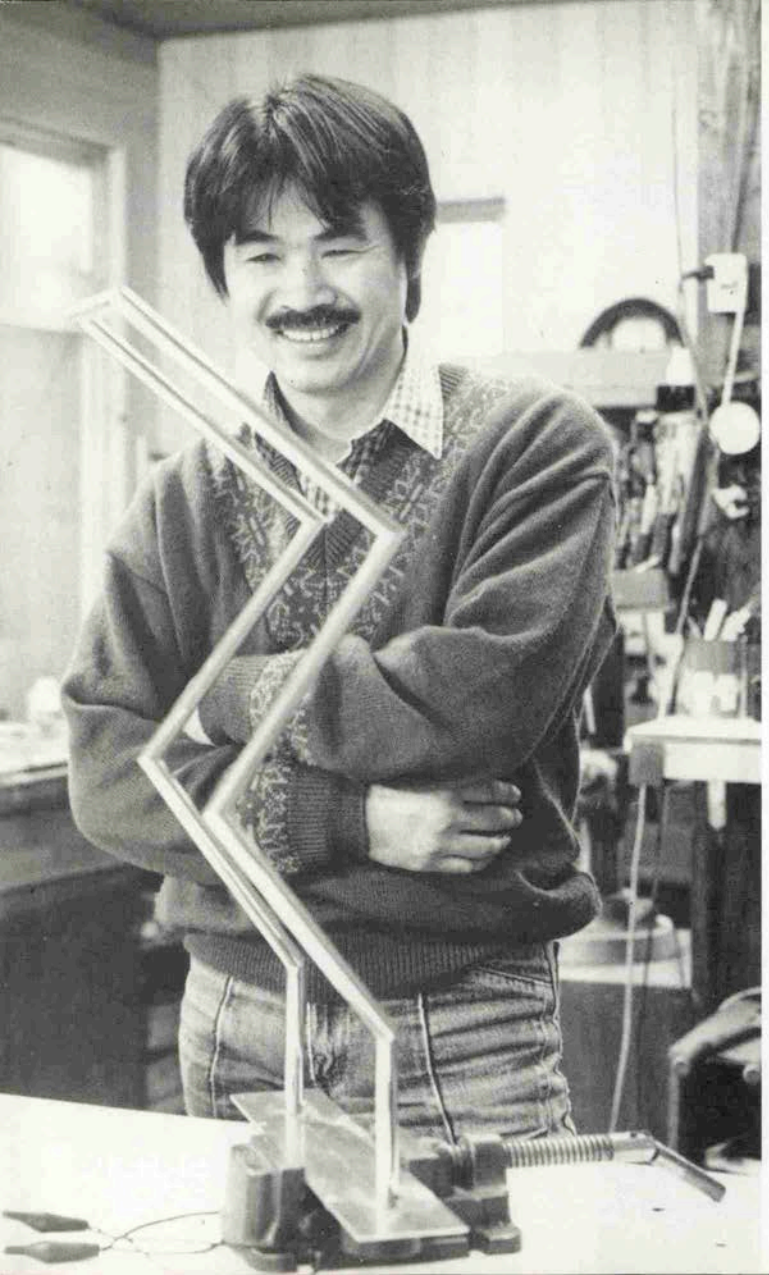
朝日新聞のコラム〝ひととき〟に自作の文章が初めて掲載されたのが16年前。その執筆者たちで作る〝ひとときの会〟会員に誘われて同人誌『ひのき』(季刊)の創刊に参加した。以来8年、小説は年2本をノルマとし、すでに10本以上をものにした。娘2人、息子1人を育てながらの文学活動を、夫は「やるだけやってみろ」と励ましてくれた。妻として母としての素朴な実生活の営みの中で、煌く言葉をすくい上げ、一つ一つを積みあげてゆく。

「今の若い人にはピンと来ないかもしれませんが、やはり〝女〟というのは差別される〝性〟ですね。社会に出ていつも悔しい思いばかりして来ました。その思いを主人公に託してるんです」と創作姿勢を語ってくれた。

蠍座のB型。「血液型っていうのは信じないんですが、『一見、もの静かで自己主張が強い』なんて人から言われると、当たってるのかなあ、と思いますね(笑)」

笑顔の底に真の勁さが見えた気がした。

〈自宅前にて〉



第18回・ブルーメール賞■美術部門

# 無限に拡がる感性の世界——松本　薫

〈彫刻家〉カメラ・米田定蔵

「少しずつ変化してゆき、結局は元の姿にもどってくる〝四季〟のようなもの」と自分の作品(テーマ)をこう表現する。キネティック・アート〝動く彫刻〟の魅力は、何度となく繰り返される動きと時間との相互作用によって生まれるドラマ性にある。そして彼は、その出発点、観る者と作品との対話の第一歩である「不思議感」を大切に扱う。

住み慣れた京都・北白川から夢前町の現在のアトリエに移ったのは約四年前。その間に、メキシコで過ごした二年間が彼の創作活動に大きな変化をもたらした。石彫からキネティック・アートへ…。スピードコントロール・モーターを活用したステンレス・スティールに視点を変えたのは「動きを見せたい」という気持ちからだった。さらに、シンプルな動きにあらゆる形の原点を見出そうとする彼は単純な〝線〟の作品を好む。「光、風の抵抗など自然の力が動きを遮ることもよくあります。逆に意外な効果を生むこともありますが、まだまだ経験不足を感じますね」と仲々厳しい。

「自分の好きな動きのスピードがあるんですよ」と何気なく発した彼の言葉が、そのゆったりとしたスピードに重なったような気がした。決して、気負うことなく自然のスピードで邁進してゆく、優しさの底に流れる「強さ」を感じる新進気鋭のアーティストである。

〈飾磨郡夢前町のアトリエにて〉

第18回・ブルーメール賞　舞台芸術部門

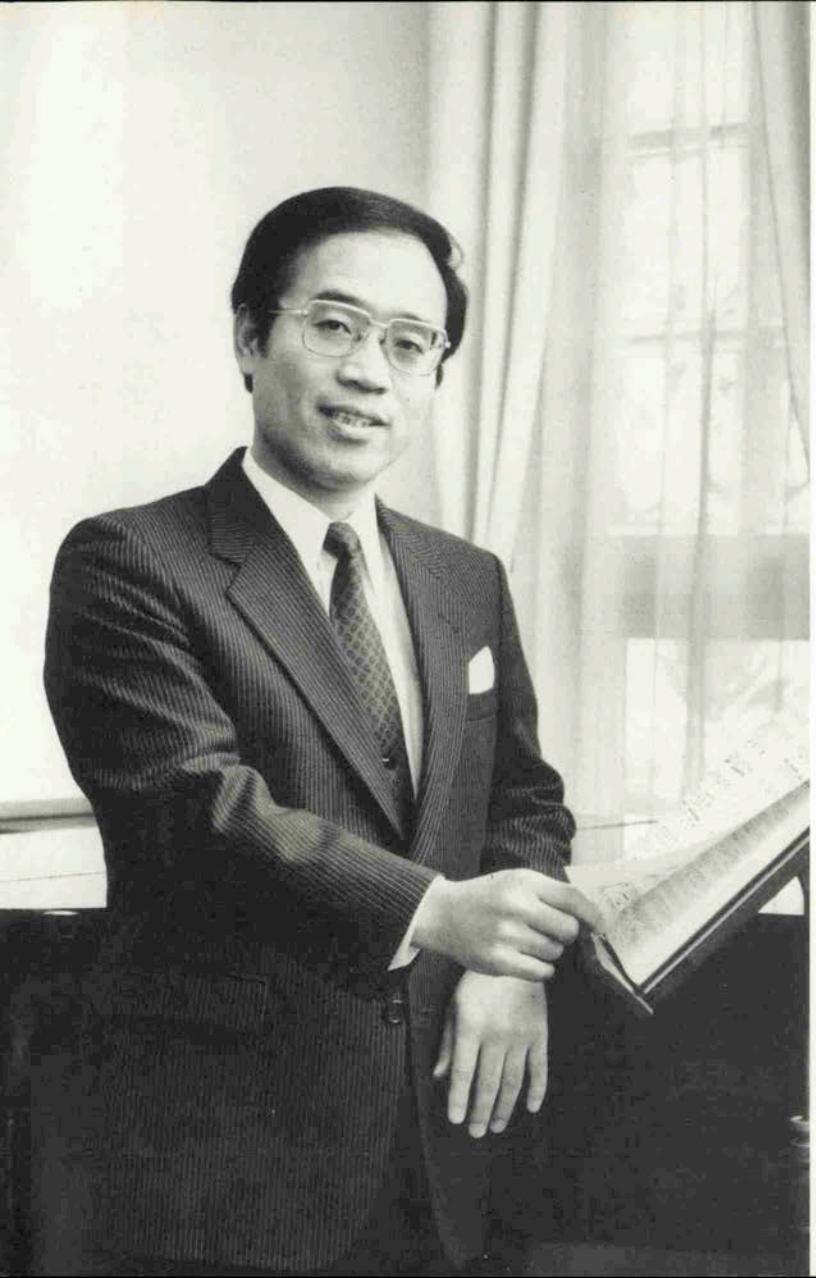
# 「万能を一心につなぐ」演能を!!久田徹二

〈能楽師〉カメラ・米田定蔵

受賞の感想をきくと世阿弥が「花鏡」で説き世阿弥自身の戒めとしてた「初心忘るべからずです」という素直な答であった。人柄のにじみ出た謙虚さであった。

昭和三年十五歳で観世流能楽師職分上田照也師の内弟子として住み込み四年まで起居を共にして修業した。ところが厳父久田秀雄師は同じく観世流の無形文化財保持者だったから父のもとで修業できたはずなのに、そこは「可愛い子には旅、他人の飯を食え」の教訓であったためらしい。その恩師も厳父もいまはすでにない。したがって厳父の地盤も継ぎ名古屋、大阪、神戸明石と幅広く活躍する多忙な毎日で、明石在住だから「明石古典芸能の会」を創設し地域に古典芸能への支持者を一人でも多くと努力して久しい。夫人は地唄舞の松本尚蒔師で二人が激しい恋で結ばれた話は有名である。夫妻で伝統芸能に専心し兄舜一郎師もこれまた小鼓の名手である。たびたび「二人の会」を催し好評を得ている。恩師と共に能楽文化使節団の一員として南仏ニース、モナコ、西独、中国へ巡演し国際的な視野をひろげている。とにかく生まれも育ちも素質も堂々たる能楽界の俊馬なのである。受賞を新しい決意と燃えて「万能を一心につなぐ」無上の夢幻能への飛翔と開花が楽しみな人である。

〈上田能楽堂にて〉



第18回・ブルーメール賞　音楽部門

# フランス歌曲の真髄を――広岡隆正

〈大阪音楽大学教授　声学家〉

カメラ・池田年夫

中学3年生の時の音楽の先生の一言が、スポーツ一筋だった少年の人生を変えた。〝毎日子ども音学コンクール〟西播地区に出場したのがその先生の「ちょっと受けてみないか」の一言。結局近畿大会にまで進み、その後大阪音楽大学付属高校から大学、同大学院と声学一筋、77～79年にはパリへ留学。一切弟子を取らないことで有名なスゼーに師事。「はるばる日本から来たのだから、と頼みこみましてね」と笑う。現在同大学教授。

3月に大阪音楽大学に完成するオペラハウスの、こけら落とし公演を控え多忙な中「声学という地味な部門が評価され大変うれしい」と受賞の言葉。今年はそのオペラ以外には、現在進行中のフォーレの歌曲全曲演奏会が予定されている。

昭和19年兵庫県加西市生まれ。高校入学時より神戸市に移る。「神戸にいいコンサートホールが欲しいですね。これはぜひ書いといて下さい」と、すぐれた演奏家、そして教育者としての顔がのぞいた。フランス音楽コンクール声楽の部2位（76年、1位なし）、U・F・A・M主催声楽コンクール1位（78年）。関西フォーレの会会員、関西歌劇団所属、神戸音楽家協会会員。　現在東灘区在住。

〈自宅にて〉

第18回・ブルーメール賞 ファッション部門

# "ハイカラ神戸"を演出する ― 村上和子

〈ジャーナリスト〉カメラ・池田年男

「わぁ、どうしよう…。まさか私が受賞するなんて。」――"仕事の出来る女性"と評判の高い村上和子は、意外にもおっとりとした口調で受賞の喜びを語りだした。

武庫川女子大学卒業。サンテレビジョンのディレクターを務めるかたわら、ラジオのレポーティングキャスター、イベントプランナーなど幅広い活躍をしている。新聞、雑誌等に数多くの連載をもち、ユニークなエッセイストとしても知られ、『神戸味どころ』『洋菓子天国KOBE』『吟醸酒図鑑』といったベストセラーがある。

'87年に高砂市の「ブライダルシティ宣言」のコンセプトプランを手がけ、"ブライダル都市高砂"の第二計画の"世界のブライダルファッションショー"の総合プロデュースを担当した。デザイナーの藤本ハルミさんはこのショーを、民俗を超えた"熱いもの"を感じさせてくれたと評する。'88年4月末には、前述の『洋菓子天国KOBE』をベースに、大丸神戸店で「洋菓子天国KOBE展」が開催された。監修にあたった彼女は今まで裏方にまわっていた洋菓子職人―"名匠"にスポットをあて、"お菓子の街"のイメージを大きくアップした。

彼女の提案する生活文化は、豊かなファッション性にあふれていて"ハイカラKOBE"にふさわしい。好評だった「洋菓子天国KOBE展」は今年も5月3日㈷から開催される。"おいしい街・神戸"を全国にPRしたいと熱っぽく語る彼女の真摯な姿、行動する女性は美しい。

〈コスモポリタン製菓・本店にて〉

ロマンティックを浴びる、時間。

18周年記念

# チャリティ 100円

# 薬草浴（ハーブ）

## 4月20日㊍

朝10時～夜1時（受付は夜12時まで）

サウナ
薔薇のハーブバス
4/20㊍▸30㊐ いつものハーブバスが模様変えします。
ハーブサウナ
冷水超音波バス
温水バイブラバス
マッサージシャワー

PRESENT
さらに、プレゼントや特典も、もれなく！

**6つのバスのサウナコース1,900円がこの日だけ100円に！**

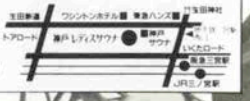
● 当日みなさまからお寄せいただくサウナ料金は、全額福祉施設に寄付いたします。
100円以上いくらでも、あなたの気持ちをお寄せください。

**サウナコース（通常）／1,900円**
マッサージ／2,800円　オイルマッサージ／5,500円
ボディケア／3,500円～6,000円
フェイシャルケア／4,500円～5,500円

今日からきれい！

## 神戸 レディスサウナ

神戸市中央区下山手通2-2-10●三宮生田新道ワシントンホテル向かい
営業時間 朝10時～夜3時
年中無休
☎078・321・4742



①②シャンデリアの光もまばゆいアトリウム ③「神商コーラス同好会」が合唱を披露
④会頭、副会頭の顔も晴れやか。⑤関西の財界、官界から約五百人が出席 ⑥石野信一神戸商工会議所会頭
⑦佐治敬三大阪商工会議所会頭 ⑧貝原俊民兵庫県知事 ⑨宮崎辰雄神戸市長

# 神戸商工会議所新会館、完成 披露盛大に行われる。

●コウベスナップ

神戸経済のシンボルとして昨年暮ポートアイランドに竣工した神戸商工会議所新会館。その完成披露パーティーが2月10日、同会館内、神商ホールで開かれた。

当日は、佐治敬三大阪商工会議所会頭をはじめ、関西の財界、官界から約五百人が出席し、新時代を迎える神戸経済界の門出を祝った。

新しきクリエーター

# 美の小箱

## 池田 真規子

文・赤根和生〈美術評論家〉

〝絵画の新しさとはなにか？〟二次元（タテ・ヨコ）空間の平面の制約からしても難しいことだ。かのフォンタナがナイフで切り裂いてアートにしたのも、もはや古典的エピソードであろう。池田芸術のユニークさは何よりも、カンバスに代って廃材の板片をつかうこと。フォンタナなみの額縁は不要で、不整形のまま色を充満させる自由奔放も、さまざまに不規則な板辺の制約を逆手に巧妙な対応を示しつつ、理知と情念の絡み合いをほとばしらせる。

色彩の高まりは自ずからなる輪郭そしてフォルムを形成し、オルガニックな生命感あふれるリアリティをもって迫る。コンポジションなどと肩肘はらず、意図的なこしらえもなしに、ふしぎにも具体的なイメージを現出させる。どこまでが色彩でどこまでがフォルムなのか、その区別すらなく融然と絡み合いながら、混沌に堕すことなく、既成の造形性とは別の、ある種の秩序を生み出しているのも、みごと。はなはだ唐突ながら、老荘思想によれば〝〈自然〉とは「自ら然り」〟ということだが、カンバスの代りの板材も自然の素材なら、それを使う姿勢も極めて自然、制作態度も含めて、殊更、奇を衒うところは微塵もなく、立体の領域で廃物彫刻があるように、戦後の現代芸術の特長たる〈日常性〉の現実を素直に身につけた成果で、まこと自然な成行であるが、カビ臭い〈タブロウ〉意識への、なんと爽やか、明快な訣別の証しであろう！のみならず、個々の制作は、展示のしかたをみても、単なる空間構成を超えて〈環境性〉へのひろがりを暗示しつつ大きく羽ばたこうとしている。

## Floor Board '89

180×410㎝　板・アクリル

**池田 真規子**

1960年　神戸市生まれ
1982年　大阪芸術大学芸術学部美術学科卒業
1985年　個展・番画廊(大阪)
1986年　個展・信濃橋画廊エプロン(大阪)
「10人の作家による展開のための展覧会」(京都、ギャラリー射手座)
釜山一大阪現代美術交流展(大阪、現代美術センター)
1987年　個展・番画廊(大阪)
第一回今日問題展(大阪、泉南子どもの森美術館ギャラリー)
第三回国際『WORK ON PAPER '87』(大阪、現代美術センター)
1988年　個展・信濃橋画廊エプロン(大阪)、番画廊(大阪)
1989年　新世代 '89(京都、ギャラリーすずき)
イマージュが生まれる時(大阪、ギャラリー白)